

平成 27 年 普及指導員資格試験 審査課題イ 【選択項目：作物】

1. 次の3つの用語について簡潔に説明しなさい。(各 250 字程度、全体で 750 字程度)

- (1) 草型
- (2) 難防除雑草
- (3) 持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律に基づく農業生産方式

2. 次の用語の中から2つを選択して簡潔に説明しなさい。

(各 250 字程度、全体で 500 字程度)

- (1) 水稻の白未熟粒
- (2) 小麦粉の種類と子実タンパク質含有率
- (3) ダイズシストセンチュウ
- (4) カンショまたはバレイショのでん粉原料用品種
- (5) 茶の冬季の気象災害とその防止技術
- (6) 飼料用サトウキビ品種
- (7) 春まきソバ
- (8) テンサイのそう根病

3. 次の設問に解答しなさい。(1,200 字程度)

消費者の健康志向、農産物のブランド化等を背景に、作物のもつ機能性成分に着目した取組が重要な課題になっている。そこで、機能性成分とその利用、並びにその作物の生産のための課題と対策について、具体的な作物を一つ挙げて説明しなさい。

平成 27 年 普及指導員資格試験 審査課題イ 【選択項目:園芸】

1. 野菜、果樹、花きのいずれかについて、主要な土壌伝染性病害を2つ挙げ、その病害の特徴と防除方法・対策について簡潔に説明しなさい。(全体で250字程度)

2. 次の(1)野菜、(2)果樹、(3)花きのうちいずれか一つを選択し、その用語群の中から四つを選択して、それぞれについて簡潔に説明しなさい。

(各250字程度、全体で1,000字程度)

(1) 野菜

- ① べたがけ栽培
- ② 養液栽培における培養液管理
- ③ トマトの尻腐れ
- ④ 生物農薬
- ⑤ 伝統野菜

(2) 果樹

- ① 珠心胚を活用した育種
- ② 酵素剥皮
- ③ 頂芽優勢
- ④ 交信攪乱剤
- ⑤ 早期成園化技術

(3) 花き

- ① キクの無摘心栽培
- ② CAM植物
- ③ 種間雑種
- ④ 球根類の休眠打破技術
- ⑤ 切り花の前処理剤

3. 野菜、果樹、花きの一つを取り上げ、あなたの地域の生産の現状や特徴・課題を述べるとともに、新たな品種・品目の導入・普及による、あなたの地域の産地振興方策について、あなたの考えを具体的に述べなさい。(1,300字程度)

平成 27 年 普及指導員資格試験 審査課題イ 【選択項目：畜産】

1. 次の用語について簡潔に説明しなさい。（各 200 字程度、全体で 1,000 字程度）

なお、(1) については必須課題として解答し、(2) については、①から⑨の用語群の中から四つを選択して解答しなさい。

(1) 必須

日本標準飼料成分表

(2) 選択

- ① MOET 法
- ② 放牧馴致
- ③ フリーストール牛舎
- ④ 乳房炎
- ⑤ 飼料添加物
- ⑥ デビーク（断嘴）
- ⑦ フェーズフィーディング（鶏）
- ⑧ 軟脂豚
- ⑨ 大豆粕

2. 次の二つの設問の中から一つを選び、解答しなさい。（1,600 字以内）

- ① 「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法」に基づいて、トレーサビリティ制度が適用され、国内で飼養されているすべての牛に個体識別番号が印刷された耳標が装着されるとともに、枝肉、部分肉、精肉にも個体識別番号が伝達・表示されている。①この法律がなぜ制定されたか、②日本の畜産の発展、畜産物消費の安定などのために、この制度がどのように活用できるか、列挙し説明しなさい。
- ② 農林水産省は、飼料用米の生産・利用の拡大を推進しており、これを受けて全国各地で飼料用米利用の取り組みが増えている。①飼料用米を利用する意義、②飼料としての特性、③家畜に給与する際に留意すべき事項、④利用拡大に向けた課題について、対象とする家畜（牛、豚、鶏）を特定した上で説明しなさい。

平成 27 年 普及指導員資格試験 審査課題イ 【選択項目：土壌及び肥料】

1. 次の土壌及び肥料に関する五つの用語について、簡潔に答えなさい。

(各 200 字程度、全体で 1,000 字程度)

- (1) 畑状態での窒素形態変化
- (2) 点滴かん水
- (3) 毛管水
- (4) 全量基肥施肥法
- (5) 洪積土壌と沖積土壌

2. 次の設問に解答しなさい。(1,600 字以内)

作物生産において、土づくりが重要なのは誰しもが認めることであるが、近年はその土づくりが十分でなく、地力の低下がみられる場合がある。そこで、地力低下の実態とそれがもたらす作物生産への影響を述べるとともに、それらを改善するために用いられる有機物（緑肥を含む）および土壌改良資材の土づくり効果について述べなさい。

平成 27 年 普及指導員資格試験 審査課題イ 【選択項目：植物保護】

1. 次の用語について簡潔に説明しなさい。（各 250 字程度、全体で 1,250 字程度）

なお（1）については、必須課題として二つとも解答し、（2）については用語群の中から三つを選択して解答しなさい。

（1）必須

- ① 化学合成農薬の長所と短所
- ② 地球温暖化の病害虫・雑草の発生への影響

（2）選択

- ① 土壌害虫の特性と防除法
- ② 果樹カメムシの特性と防除対策
- ③ 弱毒ウイルス（植物ウイルスワクチン）
- ④ イネ縞葉枯病
- ⑤ 発病抑止土壌
- ⑥ 一日許容摂取量（ADI）と急性参照用量（ARfD）
- ⑦ 水稲用除草剤の使用法
- ⑧ サル害とその防止策

2. 次の設問に解答しなさい。（1,200 字程度）

現在、環境に優しい病害虫・雑草防除法として取組が進められている総合的病害虫・雑草管理（IPM）について、慣行防除と比較しながらその基本的な考え方を述べなさい。また、今後の IPM において土着天敵の活用を高めるために必要な技術とその問題点について具体的に説明しなさい。

平成 27 年 普及指導員資格試験 審査課題イ

【選択項目：労働・機械及び農作業】

1. 次の用語について簡潔に説明しなさい。（各 250 字程度、合計 750 字程度）

- (1) ヒヤリ・ハット
- (2) 農業機械士
- (3) レーザー均平機

2. 次の（1）労働、（2）機械のいずれかを選択し、その設問①、②の両方について簡潔に説明しなさい。（各 250 字程度、合計 500 字程度）

- (1) 労働
 - ① 騒音が問題となる農業機械とその対策
 - ② 農作業における暑熱対策
- (2) 機械
 - ① GPS を利用したトラクターの経路誘導
 - ② 田植機の進化

3. 次の二つの設問の中から一つを選び、解答しなさい。（1, 300 字程度）

- (1) 我が国における農作業死亡事故の特徴を述べるとともに、あなたの地域を例に、農作業安全対策の現状と今後の取組について提案しなさい。
- (2) 我が国における 1 人当たりの主食用米の消費量は減少しており、水田の有効活用を図る観点から飼料用米の生産振興を図ることが重要であるが、主食用米に比べて、更なる生産コスト低減が求められている。生産コスト低減の観点から、飼料用米生産の機械化体系について述べるとともに、あなたの地域における機械利用上の課題について述べなさい。

平成 27 年 普及指導員資格試験 審査課題イ 【選択項目：地域計画】

1. 次の用語の中から五つを選択して簡潔に説明しなさい。

(各 200 字程度、全体で 1,000 字程度)

- (1) 食育
- (2) 田園回帰
- (3) 合計特殊出生率
- (4) ソーシャルビジネス
- (5) 小さな拠点
- (6) 空き家活用

2. 次の全ての設問に解答しなさい。(各 800 字以内、全体で 1,600 字以内)

- (1) 就農を希望する若い女性たちが増えるに伴って、女性の就農を円滑に進めるには、女性固有の課題があることが明らかとなってきた。どのような課題があるか三つ挙げ、課題解決の方策について述べなさい。

- (2) 農村地域には、自立的に生活できる一人暮らしの高齢者が増えているが、体調の急変などに備えて彼らを見守るネットワーク体制が求められている。地域計画の観点から、この地域的な体制づくりに寄与すると考えられる組織・団体等を挙げ、それぞれについて具体的に説明するとともに、それらの連携体制の構築に向けた課題を述べなさい。

平成 27 年 普及指導員資格試験 審査課題イ 【選択項目：流通及び加工】

1. 次の用語について、農畜産物の流通及び加工の視点から簡潔に説明しなさい。

(各 200 字程度、全体で 1,000 字程度)

- (1) 甘味料
- (2) アレルギー表示
- (3) かび毒
- (4) 真空凍結乾燥
- (5) 異物混入

2. 次の設問に解答しなさい。(1,600 字以内)

近年、「和食」に注目が集まっているが、和食の食材となる国産農産物の輸出に関して、あなたの地域で取り組みたい農産物とその課題について、マーケティングおよび流通技術の視点から論じなさい。

平成 27 年 普及指導員資格試験 審査課題イ 【選択項目：経営管理】

1. 次の用語の内容を簡潔に説明しなさい。(各 200 字程度、全体で 1,000 字程度)

- (1) 総資本回転率
- (2) 線形計画法
- (3) 認定農業者
- (4) G A P (農業生産工程管理)
- (5) 市場細分化

2. 次の設問に解答しなさい。(1,600 字以内)

家族労働力を中心に農業経営を行ってきたAさんは、最近になって規模拡大が進んだことや、今後、新たに生産物の加工販売を開始したいと考えていることから、若い世代の従業員を常時雇用することを決めた。このような雇用に対して、経営支援の観点からどのようなアドバイスを行えばよいかについて、あなたの考えを述べなさい。